



山門下に新設の案内板

杖のことば

なぜよろこばない
のでしょようか

あたりまえで
あることを

そのありがたさを
知っているのは

それを失くした
人たちだけ

西林寺だより

発行元
西林寺門徒総代会
広島県安芸郡坂町
坂東3-14-17
(082)885-0018
西林寺
<https://sairinji.or.jp>

近代150年の歩み(1)

西林寺は普蔵以降、僧肇・道宣・恵照と住職が法灯を継承してゆきますが、続く普行が明治14(1881)年に31歳で逝去して、普現が明治32(1899)年に継承するまでは無住となり、光明寺(川尻)住職、日高明厳(普行の実兄)とその次の光明寺住職に代務をお願いすることになります。

13世を継職した普現は、西林寺境内に「森谷日曜学校」を開設(大正末期〜昭和16年頃)し、幼児教育の普及にも努めます。また、安芸北組組長をはじめ、本願寺総代会衆及び特選会衆を拝命し、更に光明寺(川尻)・西福寺(仁保)・龍仙寺(府中)の住職代務も務める等、法義繁盛に尽力されました。その頃、地域に根づいたご法義は隆盛を極め、人口の急増もあって、西林寺は「目の下三千軒」と称される安芸屈指の大坊になります。

また、副住職の行繩(普現の実弟)は、西林寺支坊(現西昭寺)を開基されます。

大正期に造園された客殿内庭園

西林寺みのり食堂



4月より毎月一回(17時〜18時)、誰でも参加できる「西林寺みのり食堂」が、西林寺をはじめ門徒総代会のご協力、NPO法人こども食堂支援センター様・フードセンター様・グリーンコープ様・坂町地域包括支援センター様等のご支援をいただき、無事スタートいたしました。

開設を気にかけていただいた関係者の皆さまの参加も相まって、当初の予定であった40人を超える参加をいただきました。

開催日程は町内の西林寺掲示板とHPにてお知らせいたします。

7月20日(水)
8月17日(水)
9月28日(水)

お寺ヨガ教室

4月より毎月一回(10時〜11時30分)、ヨガ教室が開講されるようになりました。コロナ禍で、身体を動かすことが少ない日々が続いています。

身体と心のストレッチにご参加ください。

7月26日(火)
8月30日(火)
9月27日(火)

*事前にお申し込みください。

参加申し込み・お問合せは
正原弥生(☎885・1255)

キッズサンガ

7月31日(日)、お友だちといっしょに、お寺で一日楽しい時間を過ごしましょう。時間は10時から15時です。

申し込みは西林寺及び最寄りの仏教婦人会役員まで。

*コロナ禍につき、そうめん流しはありません。

法座案内

仏教文化講演会
七月 十日(日) 10時と13時
講師 京都市下京区 大行寺 英月師

孟蘭盆会
八月 十四日(日) 昼席より
十六日(火) 朝席まで
講師 東広島市黒瀬町 浄願寺 長尾量之師

*十五日(月) 夜席後、盆踊り(雨天中止)

秋季彼岸会
九月二十二日(木) 昼席より
二十四日(土) 朝席まで
講師 島根県太田市 瑞泉寺 三明慶輝師

朝席7:00〜・昼席13:15〜・夜席19:30

編集後記

オミクロン株の出現以降、町内でも連日、感染者が確認されるようになりました。ウイルスの弱毒化とワクチン接種によって、重症化は激減しましたが、終息はずっと先感じます。手洗いとマスク、空気の入替え等に注意しながら、少しずつでも以前の日常を取り戻してゆきたいものです。

聞思録(もんしりく)

ロシアのウクライナ侵攻が長期化の様相です。偏った情報には注意が必要ですが、ウクライナのNATO加入を阻止するためのこの軍事行動は、「言うことを聞かないなら力で」という、いのちの尊厳を踏みにする暴挙に他ならず、胸が痛みます。

ロシアの文豪トルストイは「戦争は安全な場所にいる者が他人をそのかして戦わせる」と語っていますが、ロシアが悪いというのではなく、国の為政者こそ問題で、ウクライナの人もロシアの人も共に被害者です。しかし、危惧すべきは、ウクライナの支援国が、武器の提供を「いのちと独立を守る手段」と捉えかねない現状です。武器を手に取り、人のいのちが奪われる限り、どんな大義名分を掲げても加害者でもあります。非暴力での解決の道はないのでしょうか。

いのちを慈しみ、世の安穏を願う仏教徒として、この愚行の一刻も早い終結と平和な日常が取り戻されることを願うばかりです。アインシュタインの「世界を滅ぼすのは悪をなす者ではなく、何もせずに傍観する者たちである」という言葉は大変示唆深いものです。では、私には何ができるでしょうか。為すべきことは大きく分けて、ウクライナの避難民の支援とこの戦争の終結に向けた働きかけ

です。しかし簡単なことではありません。

「ハチドリのひとつしずく」という南米の民話に、「山が火事になり、森の生き物たちは逃げていきました。しかし、一羽のハチドリだけは行ったり来たりして、くちばしに含んだ水を一滴ずつ運んでは火の上に落としてゆきます。他の動物たちは「そんなことして何になるんだ」と笑ったけれど、ハチドリは「私にできることをするだけ」と言って止めなかつた」という話があります。経典にも同様の話がありますが、私たちは困難や災難に遭うと、あきらめや無力感に呆然と立ち尽くすことがあります。この民話は、たとえ微々たることでも「自分にできることをする」との重要性を教えてください。燃えている森はウクライナの現状に重ねることが出来ます。仏さまは苦悩する者に寄り添い、見守ってください。だから、私も困難な現状にある人たちに寄り添う志願を持つことが大切です。それが仏さまの真似事であっても、ありのままの真実に教え導かれて、仏さまの心がわが心として生きる人間に育てられてゆくことが肝要です。今一度、私の足下を見つめ返し、「なぜよろこばないのでしょうか。あたりまえであることを、そのありがたさを知っているのは、それを失くした人たちだけ」という「杖のこぼし」をあらためて深く味わいたいと思います。

親鸞聖人御誕生850年(1) 立教開宗800年

宗祖親鸞聖人は、承安3(1173)年4月1日に現在の京都市伏見区日野にご誕生になりました。平家が興隆を極め、宮島に厳島神社を建立した5年後です。そして平家全盛から戦乱と飢饉で荒廃する動乱の時代に、すべての人々が救われる道を求めてご精励されました。明年は御誕生850年を迎えます。

また、法然上人を師と仰がれた親鸞聖人は、自らが開宗する意志はなかったと考えられますが、ご勸化を受けた多くの門弟を中心に、聖人の没後、宗旨として確立されます。その立教開宗の年は、『顕浄土真実教行証文類』の草稿が完成した元仁元(1224)年とされ、明後年に800年を迎えます。

*本願寺派では明治

5年11月の改暦

(新暦導入)に合

わせて、生没の日

付を新暦に改め、

ご誕生を5月21日、

ご往生を1月16日

に改めました。



親鸞聖人御影

仏教婦人会 あれこれ

総会及び追弔法要

4月25日に開催しました。今年は役員改選年で次の皆さまにお願いしました。

新役員紹介

- 会長・奥廻 幸恵
 - 副会長・寺廻 千晶
 - 井上 弘子
 - 会計・車地 玲子
 - 中本百合子
 - 総務・寺廻 幸子
 - 梶谷 香
 - 車地みのぶ
 - 書記・久保 圭子
 - 吉野みや子
 - 監事・正原美恵子
 - 仲本 洋子
 - 理事・細川 信子
 - 村上 隆子
 - 上田 澄子
 - 川崎 弥生
- また、仏婦会員13名の追弔法要が厳かに執り行われました。



花まつり

4月3日に開催いたしました。今年は日曜日に開催したこともあり、例年よりも多くの参加(総勢70人)をいただき、お釈迦さまの誕生をお祝いいたしました。

初参式

5月21日、宗祖親鸞聖人の誕生日に合同初参式を開催しました。5名のお子さまが受式され、仏前でのお焼香・記念撮影を行い、かけがえのない「いのちの誕生」を喜びました。



- 竹川 理央(りお)
- 竹川 晴稀(はるき)
- 山本 瑛菜(えな)
- 正原 大誠(たいせい)
- 高下 悠真(ゆうま)



仏教婦人会行事予定

- 毎月 五日 理事会
- 毎月 二十四日 役員勉強会
- 八月 十一日(木) 本堂おみぎき
- 八月 十五日(日) 盆踊り

仏教壮年会 あれこれ

総会

今年度の総会を4月2日に開催しました。まだまだ続きそうなコロナ禍での学びのあり方について意見交換をしました。

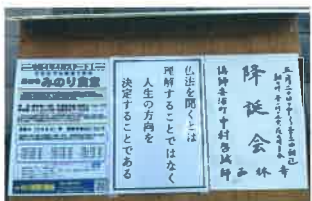
また6月6日より境内の松の木のみどり摘み」を会員有志で行いました。



西林寺掲示板リメイク

壮年会結成35周年の記念事業で制作した町内約40カ所の掲示板は、風雨による老朽化で改修が待たれていました。

門徒総代会より依頼を受け、仏社有志によって、新しく作り替え、従来よりも多くの掲示が可能となりました。



仏教壮年会行事予定

- 毎月 十日 月例会(経典学習会)
- 七月三十日(土) 仏壯・仏婦合同勉強会